

佐川前国税庁長官・証人喚問関連 モニター報告

～放送を語る会・大阪～

放送局 ABCテレビ	番組名 キャスト
放送日時 2018年3月27日(火) 16:50～18:50	
番組中の証人喚問関連項目と放送時間 ①オープニング(1'10") ②何を語る 佐川氏の証人喚問 「訴追の恐れ」を連発 もうこれで“幕引き”？ (20'18") ③ローカルニュース枠 大阪地検、佐川氏聴取を検討(1'04") 計22'32"	
出演者名：司会・キャスター・コメンテーター・ゲスト(肩書き) 古川昌希・塚本麻理衣(キャスター)、小西陸斗(ローカルニュース) 古賀茂明(元経産省官僚)、三輪記子(弁護士)、木原善隆(ABCコメンテーター)	
番組内容	
映像：ST・VTR・中継(配分時間)	音声：発言者・発言要旨
●スタジオ 古川 古賀・三輪・木原・塚本 ●VTR Part.① ～もうこれで幕引き？～ 委員長 佐川証人 委員長 佐川証人 佐川証人 小池(共産) 辻本(立憲)	古川) ついに行われた佐川前長官の証人喚問、どう見たか？ 古賀) やっぱり佐川さんは相当自民党安倍政権の意を汲んで頑張ったなという印象だ。必死に頑張っていた気がする。 古川) 「刑事訴追の恐れがある」と何度も聞いたが、一方で「安倍総理と昭恵夫人などの関与はございません」ときっぱり否定出来るのとは矛盾があるのでは？ 三輪) 「刑事訴追の恐れがある」と言う発言は、自分でも悪いことをしたという認識があるということ。 それだけ沢山の「刑事訴追の恐れがある」ということは、検察もこのまま放っておかないだろうと思う。 古川) この証人喚問については、また後ほど詳しくお伝えする。
「あなたは佐川宣寿君ですか？」 「はい、そうです」 「職業を述べて下さい」 「無職です」 N) 何が語られ、何が明らかになるのか？ ついに実現した証人喚問。 「答弁は控えさせていただきたい」 「そこはお答えをさしひかえさせていただく」 「委員長、これでは証人喚問の意味がない。これ以上聞いたって意味が無い」 N) 文書改ざんは理財局単独で行われたのか？ 「自ら“トカゲの尻尾”になろうとしてるのかなと・・・」	

<p>蓮舫（立憲）</p> <p>菅官房長官</p>	<p>N) それともそういうシナリオなのか？</p> <p>「国会が死んだ日になると思う」</p> <p>N) 政府の反応は？</p> <p>記者)「佐川氏は官邸・政治家の指示を明確に否定したが・・・」</p> <p>菅)「なかったからじゃないですか」</p> <p>記者)「これでひと区切りついたら・・・」</p> <p>菅「国会のことについて政府はコメントすべきではない」</p>
<p>●VTR Part.②</p> <p>～「訴追の恐れ」を連発～</p> <p>金子委員長</p> <p>佐川証人</p>	<p>N) 今日午前9時前、厳しい表情で国会に入った佐川前国税庁長官。何度も深く息を吸い込み、瞬きに、肩を上下。表情からは強い緊張が感じられる。数え切れないほど出席した国会だが、証人として立つのはこれが初めて。戸惑いもみられる。</p> <p>どんな決意を持って何を証言するのか・・・それはすぐに明らかになった。</p> <p>「証人は“決裁文書の書き換え”を知っていたか？」</p> <p>「刑事訴追を受ける恐れがございますので、その点については答弁を差し控えさせていただきますと思う」</p> <p>N) 以降、改ざんの核心については何を聞かれても「刑事訴追の恐れ」「答弁を控える」との答弁。</p> <p>その反面、佐川氏が終始はっきりと答えていたのは「政治家や財務省幹部の関与はなかった」という一点。</p> <p>言葉だけでなく、佐川氏の表情に御注目。</p>
<p>丸川（自民）</p> <p>佐川証人</p> <p>丸川（自民）</p> <p>佐川証人</p> <p>丸川（自民）</p> <p>佐川証人</p>	<p>「佐川さん、あるいは理財局に対して安倍総理からの指示はありませんでしたかね？」</p> <p>「ございませんでした」</p> <p>「念のために伺いますが、安倍総理夫人からの指示もありませんでしたかね？」</p> <p>「ございませんでした」</p> <p>「ここまでの証言を踏まえますと、まず官邸からの指示はなかったということになります。間違いありませんか？」</p> <p>「間違いございません」</p> <p>N) ところが・・・</p>
<p>小池（共産）</p> <p>佐川証人</p> <p>小池（共産）</p> <p>佐川証人</p> <p>～議場騒然～</p>	<p>「安倍昭恵さんの名前が当時の決裁文書に出てきていた。特別なことだという感じを持ちませんでしたか？」</p> <p>「書き換え前の文書とか、書き換えた後の文書を、どの時点で見たかということになりますので、その点は先ほどの御質問と一緒に（答弁を控える）だと理解してございます」</p> <p>「“いつ見たか”と聞いたのではなく、安倍昭恵さんの名前が何度も出てくる、それをいつかの時点では御覧になったんでしょう？」</p> <p>「“いつ見た”とは聞いておられないが、“いつか見たんでしょう”ってというのは、やっぱり“いつ見たのか”という質問でございますので・・・」</p>
<p>小池（共産）</p>	<p>「これでは証人喚問の意味は全くありません。訴追の恐れがある以外のことも全部答えない。これ以上聞いたって意味ないですよ」</p> <p>N) その後も佐川氏の答弁拒否でしばしば紛糾。</p>

<p>福山（立憲）</p> <p>「頭脳明晰な佐川さんの割にはちょっと分からない。法令にのっとって契約したんですよね？じゃあ何で文書を改ざんする必要があったんですか？」</p> <p>佐川証人</p> <p>「答弁を控えさせていただきたい」</p> <p>福山（立憲）</p> <p>「関わってないなら関わってないと言えばいいんじゃないですか？」</p> <p>佐川証人</p> <p>「“誰がどう関与したのか”というのは、私も含めて捜査の対象になっているところでございます」</p> <p>福山（立憲）</p> <p>「改ざんの経緯については“刑事訴追の恐れがある”と言って、今まったく答えないのに、なんで総理官邸の関与や大臣の関与だけは明確に否定されるんですか？これも経緯なんじゃないんですか？この証人喚問は、逆に疑惑を深めて火に油を注いだ、そのことを申し上げて質問を終わりたい」</p> <p>T-W</p>	<p>「頭脳明晰な佐川さんの割にはちょっと分からない。法令にのっとって契約したんですよね？</p> <p>じゃあ何で文書を改ざんする必要があったんですか？」</p> <p>「答弁を控えさせていただきたい」</p> <p>「関わってないなら関わってないと言えばいいんじゃないですか？」</p> <p>「“誰がどう関与したのか”というのは、私も含めて捜査の対象になっているところでございます」</p> <p>「改ざんの経緯については“刑事訴追の恐れがある”と言って、今まったく答えないのに、なんで総理官邸の関与や大臣の関与だけは明確に否定されるんですか？これも経緯なんじゃないんですか？</p> <p>この証人喚問は、逆に疑惑を深めて火に油を注いだ、そのことを申し上げて質問を終わりたい」</p>
<p>参院証人喚問終了</p> <p>質問時間 与党：45分 野党：67分</p> <p>丸川（自民）</p> <p>「偽証罪にも問われる中で、佐川さんが総理・総理夫人・官邸の取引への関与、書き換えについての関与がなかったことを明確に証言されたことは非常に重く受け止めるべきことだと思う」</p> <p>記者）「これで見ている国民は納得出来ると？」</p> <p>丸川）「明確になったことは明確になったこととして重く受け止めるべきことだと思う」</p> <p>N) 参議院の証人喚問は二時間で終了。捜査中を理由に口を閉ざす一方、総理や官邸の関与については一切を否定。質問に立った自民党・丸川議員は・</p> <p>N) 同じく質問に立った共産党・小池書記局長は・</p> <p>小池（共産）</p> <p>小池）「あきれました。都合の悪いことは全部証言を拒否したというのが今日の顛末だ。“刑事訴追”を隠れ蓑にして、大事な問題を全部証言を避けたということだ」</p>	<p>N) 参議院の証人喚問は二時間で終了。捜査中を理由に口を閉ざす一方、総理や官邸の関与については一切を否定。質問に立った自民党・丸川議員は・</p> <p>「偽証罪にも問われる中で、佐川さんが総理・総理夫人・官邸の取引への関与、書き換えについての関与がなかったことを明確に証言されたことは非常に重く受け止めるべきことだと思う」</p> <p>記者）「これで見ている国民は納得出来ると？」</p> <p>丸川）「明確になったことは明確になったこととして重く受け止めるべきことだと思う」</p> <p>N) 同じく質問に立った共産党・小池書記局長は・</p> <p>小池）「あきれました。都合の悪いことは全部証言を拒否したというのが今日の顛末だ。“刑事訴追”を隠れ蓑にして、大事な問題を全部証言を避けたということだ」</p>
<p>T-W</p> <p>衆院証人喚問 午後2時</p> <p>石田（自民）</p>	<p>N) 午後2時から衆議院で証人喚問。自民党・石田議員は佐川氏を追及・・と言うより“独演会”の様相だった。「この部分が非常に重要なので読ませていただきます。圧力で変わったということではない。～重要なので読ませていただきます。まず総理夫人や政治家の関与はなかったと」</p>
<p>T-W</p> <p>質疑 35分/2時間</p>	<p>N) この議員に与えられた質疑時間は与野党含めて最も長く、35分間あった。何も明らかにならないまま時間だけが過ぎる。</p>
<p>昨年2月の安倍答弁</p> <p>竹内（公明）</p> <p>佐川証人</p>	<p>～「私や妻が関係していたら総理も国会議員も辞めるということをはっきり申し上げておきたい」～</p> <p>N) この発言が改ざんのきっかけとする見方もあったが・</p> <p>「この発言があったから書き換えを決断したのか？」</p> <p>「総理の発言は、私も予算委の場において聞いていたが、私は総理の答弁の前後で、私の答弁を変えたことはありません」</p> <p>N) 紆余曲折を経て実現した佐川氏の証人喚問。</p>

逢坂（立憲）
佐川証人

逢坂（立憲）

佐川証人

石破（自民）

これまでの一貫した答弁に、こんな質問が出た。

「退職してから官邸の関係者と会ったか？」

「3月9日に退職して、それ以来、そういう方々（官邸関係者）とは会っておりません」

「事前に与党の皆さんと何らかの形で今日の答弁内容にすり合わせ、除法交換はあったのか？」

「私が与党の方とお話をしたことはございません」

N) 今回の証人喚問で何か得るものがあったのか？

野党は二度にわたり籠池被告と会っていたが、その成果はみられなかった。

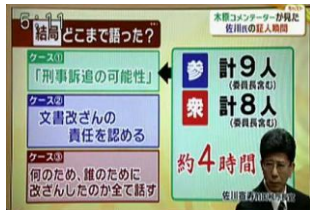
記者)「国民の不信感が高まっていないか？」

「さらに踏み込んだ発言があって“なるほどそういうことだったのか”

“行政の信頼を回復するためにはこうすればいいか” そういう進展をみるような答弁であってほしかったという思いはある」

N) 安倍総理は今日の証人喚問をどうみたのだろうか。

●スタジオ 古川・木原
古賀・三輪



古川) ここからは木原さんに解説していただく。

これ(図)は、佐川氏が“どこまで語るか予想”だ。

事前に想定した図中の“ケース1”が殆どだった。

木原) 約4時間、衆参合わせて17人の質問に対し、核心部分は全て「刑事訴追」で逃げた。

“ケース2”の「文書改ざんの責任」については、理財局全体の責任は認め、理財局長としての責任はあると言う認め方だ。

誰がどのようにについては「刑事訴追」で逃げた。

つまり、政府与党にとっては一番都合のいい答弁をしたということになる。

古川) その代わりに、我々のもやもやはつのがた。

大きくは二つの問題がある。“決裁文書改ざん”と“8億円の値引き”。

改ざんについての指示を否定したが・・・

木原) 安倍総理夫妻だけでなく、政治家からの指示については完全に否定。

古川) 協議もしなかったと・・・

木原) であれば、当然、何故改ざんしたのかと聞かれる。

すると「刑事訴追の恐れがあるから言えない」との答弁。

これでは全く真相が明らかにならないし、国民は納得しないだろう。

古川) 8億円の値引きについて、木原さんはキーワードが連発していたと言う。

●VTR（証人喚問）
答弁する佐川証人

「貸付契約・売り払い契約が実質的に結ばれた平成28年6月半ばまでということになると、私は理財局にいない。」

「公的取得要望から始まって貸付契約・売り払い契約の経緯について勉強もし、局内でもいろいろ聞いた」

「昨年、私が勉強した範囲ですが・・・」

「私が昨年勉強して、一連の書類を読んで・・・」

●スタジオ 古川・木原
古賀・三輪

古川)「勉強」という言葉から何が分かるのか？

木原) 佐川氏は森友学園の土地契約当時の理財局長ではなかった。

契約後に理財局長になって、部下に聞いたり資料を読んで「勉強した」と。その結果で答弁していると言った。

伝聞・推定（答弁）だし、当事者でないから、佐川氏に聞いても分からないということが今日分かった。

ということは、当時の理財局長・迫田氏に聞かないと8億円値引きの真相は分からないということだ。

古川) 改ざんについては刑事訴追の恐れがあるから言えない、8億円値引きについては当時自分はいなかったから分からない・新しいことは何も解らなかったということになるが・

古賀) 佐川氏が断定的に言った中に、官僚経験者からみるといくつかの驚きがあった。一番驚いたのは、前任の迫田氏からこの件について詳しい説明を全く聞いていないと言ったこと。

古川) 引継ぎが無かったと言っていた。

古賀) これは普通あり得ない。二人は同期でもあり、近い関係だ。

普通は、内示を受けた時点で「おい、呑みに行こうぜ」と言う感じで。

「通常のルーティンは部下に聞いてね」ということで引継ぎしないことはあるが、迫田氏からみれば、当時苦労した経験のある案件だから「ちょっと一つだけ言っとくけどさ・」というのが普通だ。

古川) 改ざん前の文書には「特例の」みたいな文書もあったわけですから。

古賀) 初めてのようないやらしいことやらされてるんだけど、後々の人のことを考えたら必ず後任に引き継ぐものだが、それをやっていないのがすごく驚きだ。答弁を作っている時にパタパタしていたが理財局で完結してやったと、官房の人達は関係ないとも言った。

古川) 相談もしていないと・

古賀) 国会で問題になった後ですよ。僕には本当に信じられない。

形式的に官房には必ず通るが、中身は絶対見てる筈だ。

これも本当に不思議だなと思った。

古川) そう言う読み説き方も出来るんですね。

古賀さんの見方としては、何も分からなかったんではないんですね？

古賀) 逆に言えば、そんなことを言わなければならないという・でも言ってそれが嘘だったら偽証になる。

偽証にならないということは、「実はそんなことあったんですよ」みたいなことをみんなが言わないという意思統一が出来ているんだなと感じた。

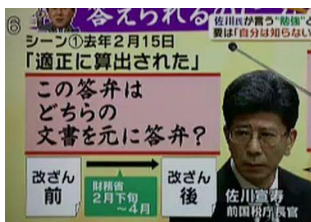
古川) そうなるとまた事態が重くなる。

木原さんはこんなシーンもあったと指摘している。

“答えられるのになぜか答えない”シーンがあったと。

木原) 去年、ずっと答弁してきたが、その答弁は改ざん前か改ざん後か、どちらの文書を見て答弁していたのかを何人かの議員が聞いたが一切答えない。改ざん自体は認めているわけだし、「刑事訴追の恐れ」と言うが、答弁そのものが刑事訴追されてるわけではないので、答えることが出来る筈だが、これにも一切答えない。

古川) ということは、これを答えてしまうと刑事訴追に大きく影響してしまうと暗に示しているのか？





木原) いや、と言うよりも、改ざん前の文書を見ていたとなると、次に動機を聞かれる。その前に「刑事訴追」を理由に予防線を張って、何も答えなかったということだ。

古川) もう一つは・・・

木原) VTRにも出てきたが、決裁文書に昭恵夫人の名前を見た時の感想を問われていた。これも個人の感想だから答えてもいいと思った。まさに忖度に直結する部分なので、これも「刑事訴追の恐れ」ということで逃げた。

古川) 三輪さん、昭恵夫人の名前があると思った、と答えたら駄目なのか？

三輪) そこが文書改ざんの動機に繋がるというように御自身が判断したのだろう。昭恵夫人からの指示、或いは総理からの指示が無かったとしても、そこをもっと聞きたかった。

古川) 木原さん、こういう反応から浮かび上がってくる実体みたいなものはあるのか？

木原) 結局、文書改ざん問題については検察の捜査が終わらないと何も答えないということが分かり、8億円値引き問題は佐川氏では分からないということが判明した。

当事者に出てきてもらわなければ真相は分からないということが分かった。

三輪) 当時、丁寧な答弁が出来なかった理由が、理財局としては珍しいくらい多くの質問を受けて慌てたんだと言っていた。

ということは、去年の答弁は特殊な事例だったと言ったに等しいと思う。理財局として、土地の売買について国会で追及されることは珍しいことだということが分かった。

古川) 理財局がそれほど特殊な状況にあったという証しにもなる？

古賀) 佐川氏には正直に喋ってほしかったが、そういう選択肢は今の官僚には与えられてないなと言う感じがする。

要するに、何があっても安倍一強体制は揺るがないと思い込んでいるから、ここで万一安倍政権に傷を付けるようなことを言ったら、その後の自分の人生がどうなるのかを考えると、徹底的に潰されるんじゃないかと思って、もう善悪とか判断する前に、自分としては自民党に協力するしかないなとなったのかと・・・これは印象論だが。それを非常に強く感じた。

古川) 今回の証人喚問で明らかにならなかったことを、迫田理財局長（当時）や昭恵夫人の証人喚問で明らかになるんでしょうか？

●スタジオ 小西
ローカルニュース
「佐川氏聴取を検討へ」
～証人喚問VTR～
佐川証人

小西) 財務省の文書改ざん問題について、佐川前国税庁長官の国会での証人喚問が終わり、検察は今後、佐川氏への任意聴取を検討するとみられる。
N) 森友学園に対する国有地売却に関する文書改ざん問題で、佐川宣寿前国税庁長官が国会の証人喚問に立った。

「刑事訴追を受ける恐れがありますので、その点については答弁を差し控えさせていただきます」

N) 佐川氏は、改ざんを知っていたかなどの質問に対しては、刑事訴追の可能性があると回答を避けた。

また、改ざんは財務省理財局内部で行われ、安倍総理ら官邸からの指示は無かったなどと話した。

佐川氏を巡っては市民団体などが公用文書等毀棄などの容疑で告発。

今日証人喚問が終了したことで、大阪地検特捜部は佐川氏に対し、公文書の改ざんを指示しなかったかなど、任意で事情聴取を検討するとみられる。